

## 小学部第三学年 関連する教科書単元



国語・単元名 食べ物のひみつを教えます

理科・単元名 植物の育ち方

社会・単元名 農家の仕事

算数・単元名 10000 より大きい数を調べよう ・単元名 整理のしかたとぼうグラフ

#キーワード 「在外教育施設における令和の日本型教育」

単元統合、アクティブラーニング、縦割り活動、ESD

教科横断的活動、社会に開かれた「学び」、ランドデザイン

### 育てたい児童の力：「聴く力」「コミュニケーション力」「質の高い質問力」「自ら学ぼうとする力」

話し合い活動において、聴き手を育て、考えを共感的・肯定的に共有できる力や、質問やアドバイスによって多面的・総合的に「考える力」を身につけさせたい。児童間の質問の質を高めるような学習活動の場を工夫し、より探究的で発展性のある「自ら学ぼうとする力」を育てていきたい。

小学部第三学年	単元名	食べ物のひみつを教えます	3時間
単元の目標	国語 「初め」「中」「終わり」の構成を意識し、「中」の事例を絵と組み合わせながら段落に分けて書くことができる。 <b>教科横断型活動</b> （導入学習） <ul style="list-style-type: none"> <li>算数 資料を棒グラフに表すと、数量の大小が分かりやすいことや、棒グラフの読み方を理解することができる。 「大きな数のしくみと表し方」</li> <li>理科 植物の育ち方や体のつくりについての理解を図り、主に差異点や共通点を見出しながら観察することができる。 「植物のからだと作り」</li> <li>社会 働く人たちの様子や生産のための工夫をとらえ原料や製品を通じた他地域とのつながりに気づくことができる。 「お店の人たちの工夫」～<b>コミュニティ・スクール</b> ESD <b>社会に開かれた「学び」</b></li> </ul>		
日本語の目標	「はじめ」「中」「おわり」の書き方を用い、内容のまとまり毎に段落を構成することができる。 相手にわかりやすく伝えるために、表現を工夫することができる。 「はじめに・まず」「次に」「さらに」「このように」など、手順や事例を並べて説明できる 自分の良さや友達の良さを見つけ、言葉や文章で伝え合うことができる。→自分を客観的に見ることを経験して自己理解を進め、新たな自分の良さを発見し、これからの生活でよりよい自分になれるよう努力しようとする意欲を育てる。 「〇〇さんの発表で良いと思ったところは、～です。なぜかという～だからです。」など、理由をそえて友達の良いところを探す事ができる。		
学習課題	興味をもった食材を選び、調べたい事柄について情報を収集し、文章構成や順序を意識しながら文章にまとめる。 共通点や相違点を意識した「聴き方」や、わかりやすい「伝え方」を工夫する。		
主な学習活動	自分が調べた「食べ物のひみつ」について、構成を意識しながら書く。 指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解し使う。自分が調べた食べ物の秘密について、伝える相手を意識して書いたり、質問や感想を共有したりする。 目的意識や、相手意識を持ち意欲的に「書く」活動に取り組み、発表会に臨む。		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	<p>導入 既習内容の確認</p> <p>学習課題をつかむ</p> <p>「興味を持った食材について必要な情報や、調べ方を考える」</p> <p>学習課題をつかむ</p> <p>「はんで意見をまとめよう」単元統合目的や進め方を確認し、意見の共通点や相違点に着目し、考えをまとめる。</p> <p>自己評価をする</p>	<p>「すがたをかえる大豆」で学んだことを振り返る</p> <p>めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「へんしんする食べ物」を見つけよう</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたを変える大豆」で学んだことを振り返りながら、「へんしんする食べ物」について、どのような情報を集めればよいかを考える。</li> <li>・自分の題材を選び、どのような順序や構成で紹介文を書くかをノートやワークシートに整理する。</li> </ul> <p>めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">わかりやすく伝えるための工夫を話し合おう</span></p> <p>「話し合いの目的」</p> <p>へんしんする食べ物を、わかりやすく紹介する。</p> <p>「決めること」わかりやすく伝えるための工夫</p> <p>例1「簡単な作り方から、難しい作り方」の順序で書く</p> <p>例2「はじめ、中、終わり」の構成で書く。</p> <p>例3「まず」「次に」「また」「さらに」など接続詞を適切に用いて、文章をつなげる</p> <p>例4「へんしんした食べ物」の図や写真を示す。</p> <p>例5「声の大きさ、スピード、間の取り方、体の向き、視線など」発表の仕方に気をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め・中・終わり」の構成や、書く順序（よく知られている製品や簡単な工程の製品から書く）、材料の育て方と産地など、既習内容を復習する。</li> <li>・教科書 P.51 に提示された「米、麦、魚、牛乳、とうもろこし、いも」を参考に題材を選ばせる。</li> </ul> <p>「目的」と「決めること」を確かめ自分の意見を出したり友達の考えを聞いて質問したり、話し合いの仕方を押さえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合いの役割「司会」「記録」「時間」を決め、進め方を確かめる。</li> <li>・自分の意見だけでなく、そのように考えた理由や根拠を話すように練習する</li> </ul>
	<p>家庭学習課題</p>	<p>選んだ食材について、わからないことをインターネットなどで調べ、ワークシートに整理する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネットでの調べ方については保護者の協力をお願いする。</li> </ul>
2	<p>学習課題をつかむ 紹介文を書く</p> <p>自己評価をする</p>	<p>めあて <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">「へんしんする食べ物」の紹介文を書く</span></p> <p>ワークシートを作文メモ代わりにして、説明文を書く</p> <p>仕上げた紹介文を、上級生や友達と読み合い、良かったところや分かったことを伝え合う。（対話的活動）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・段落ごとに読み返しながら誤字脱字、主述の対応や、接続詞、句読点、改行など観点を示す。</li> </ul> <p><b>縦割り交流活動</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上級生からの質問やアドバイスをもとに、より相手に伝わる表現や工夫に気づかせる。</li> </ul>
	<p>家庭学習課題</p> <p><b>単元統合</b>「気持ちをこめて来てください」</p>	<p>「へんしんする食べ物」の発表会の案内の手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読む人のことを思い浮かべて「気持ちをこめて」丁寧な字で書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙の書き方のきまりと組み立てや敬語の使い方に留意させる。</li> </ul>

			・発表会に必要な日時、場所、内容を確認させる。
3	学習課題をつかむ	めあて「へんしんする食べ物」を紹介する 相手に興味を持って聞いてもらえるように発表の仕方や表現を工夫する。	・児童同士で意見を出し合うことで、自分や友達の良さに気付かせる。
	自己評価をする 家庭学習課題	質問や感想を伝え合う。 発表会に参加してくれた人にお礼の手紙を書く。	・アドバイスをくれた上級生に敬語を使って、手紙を書く